

「第 4 回行政改革推進会議有識者議員懇談会」開催にあたっての意見

2014 年 8 月 8 日
東日本旅客鉄道株式会社
大塚 陸毅

所用につき今回の懇談会を欠席させていただくことから、以下に意見を述べさせていただきます。

1 平成 26 年の公開プロセスの検証及び今後の改善策について

- 「行政事業レビュー」において、「PDCA」を着実に回すためには「P（計画）」が肝要であるという点について、有識者議員の認識は一致していると考えます。そのうえで、結果として「現状通り」となる事業がなかったという点に着目しました。状況の変化など様々な理由があるかと思いますが、計画の策定に問題がなかったのかという視点も含めて、議論・検討を進めていただくと、更に効果のある取組みになると考えます。
- 予算については、一律に削減というだけでなく、必要性が高い事業や迅速性が求められる事業については、メリハリをつけて伸ばしていくということが、これまでの議論における共通認識であると考えます。そういったしますと、各府省がさらに強化すべきと考える事業についても、公開プロセスにおける議論の対象とする場合があってもよく、「現状維持～廃止」の範囲で検討を行うにとどまらず、「強力に推進」という選択肢を加えることも一案ではないかと考えます。

2 国・行政のあり方に関する懇談会の取りまとめについて

- 「国・行政のあり方に関する懇談会」の取りまとめ資料については、興味深く拝読しました。日本が目指すべき社会像は、絶対的な弱者に対しては支援をしつつ、「自主」「自立」「自己責任」を基本とする社会だと考えています。今まさに、国民一人ひとりの意識を変えていくための世論喚起が求められていると考えます。行政においては、希望的な予測ではなく厳しい状況を国民に示していくことが求められます。同懇談会で議論頂いた指針を行政改革に具体的に活かすためにはどのようにすればいいのか、行政改革推進会議に報告すべく、有識者議員懇談会の場で議論を加えていくことが有効ではないかと考えます。

以上